

逆境でも前向きに鼓舞する言葉～大ヒット作品『鬼滅の刃』から生き方を学ぶ～

少し前のことです。吾峠呼世晴さん作の大人気漫画『鬼滅の刃』が5月18日(月)発売の週刊少年ジャンプで完結したことが大きな話題になりました。大正時代の日本を舞台に、家族を鬼に殺された少年 竈門炭治郎が生き残ったものの鬼となってしまった妹の禰豆子を人間に戻すために、仲間と共に鬼と戦う物語。さまざまな人々との出会いや鬼たちとの戦いを経験しながら、人間として成長し、強くなっていく炭治郎やその

仲間の姿。理不尽な現実と直面しても、どんなに高い壁が立ちまわろうとも、正々堂々と挑み、最後まで諦めない姿勢を崩さない姿は、自然と見る人を惹きつけ、応援したくなる気持ちにさせます。今を生きる私

たちも理不尽な現実や受け入れがたい苦境に立たされることはたくさんありますが、そんな時にはついイライラしたり、他を責めたり、諦めたりしがちです。『鬼滅の刃』には、理不尽に打ち勝つための努力をする人たちが大勢登場し、どんな逆境に立たされても、自分を前向きに鼓舞する言葉がいくつも登場します。日本では昔から「思いを込めて言葉を発すれば、その通りの結果になる」と“言葉に宿る不思議な力”を『言霊(ことだま)』と信じられています。状況は違うかもしれませんが、私たちも現実を受け止めて、前向きに次の一步を踏み出すことを大事にしたいです。

※一部内容を抜粋また加工しております。